

2021年PDCAサイクル実施状況

\*ワーキンググループ以下WGとする。

WG名	院内がん登録	化学療法	緩和ケア	医師会などとの地域連携	がん相談支援	医療指標およびがん診療委員会ホームページ教育研修	クリニカルパス	放射線
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年症例の登録及び提出</li> <li>全国がん登録への協力（廻り調査など）</li> <li>予後支援事業への協力</li> <li>院内がん登録の状況をホームページにて情報開示をおこなうとともに随時更新していく。</li> <li>全国がん登録登録様式に沿った2020年症例の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん化学療法を受けている患者家族への多職種間の連携による継続支援</li> <li>薬剤投与前の検査の徹底</li> <li>患者への情報提供の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん診療に携わる医師対象の緩和ケア研修（PEACE）開催</li> <li>地域の医療従事者に対する緩和ケア研修開催・事例検討会開催</li> <li>院内の医療従事者に対する緩和ケア研修開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療連携協議会の定期的開催</li> <li>医師会との症例検討会の実施</li> <li>開業医参加によるがんセンター（呼吸器・消化器・外科カンファレンス）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者情報交換会「たんぼぼ会」の定期開催</li> <li>がん患者会初ワーク香川への協力</li> <li>がん相談員基礎研修及び指導者研修への参加（Webも含む）</li> <li>がん相談員研修・交流会、地域支援フォーラム・QA研修等への参加（Webも含む）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者のニーズに対応した情報の適宜公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん（大腸・胃）のパスについて地域医療機関との連携を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射線治療に関する相談への対応（治療内容、副作用など）</li> <li>かかりつけ医などからの放射線診断依頼に対する協力</li> </ul>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>院内がん登録2020年症例を10月までに完成し、国立がんセンターへ届出（8/19提出済）</li> <li>廻り調査・予後支援調査に参加する。（2020年10月に廻り調査2017年症例10/31提出済み）</li> <li>全国登録へ2020年症例の届出（2021年7月27日済）</li> <li>ホームページに2017年登録状況を掲載</li> <li>QIがん登録データを提出（2019年症例+様式1）</li> <li>全国がん登録に沿った登録様式情報に順次対応中</li> <li>全国がん登録提出後のエラー対応実施</li> <li>廻り調査実施</li> </ul>	<p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*化学療法開始時、治療変更時、専門職による情報提供として服薬指導、栄養指導、口腔ケアを実施し、多職種間で連携を図った。</li> <li>*服薬管理や有害事象を含めた症状に対し、多職種で関わり、予防と症状軽減に努めた。</li> <li>*外来化学療法室で治療を受ける患者や経口抗がん薬を開始する患者に対し、がん専門薬剤師が関わり、薬剤説明、有害事象のマネジメントを看護師とともに行った。また、有害事象に対し、主治医へ薬剤の処方提案を行った。</li> <li>*がん看護マニュアルの修正</li> <li>*院外薬局への情報提供と連携を行った</li> <li>*免疫関連副作用(irAE)早期発見に努めた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん診療に携わる医師対象の緩和ケア研修（PEACE）開催 令和3年9月5日実施 参加者 5名</li> <li>地域の医療従事者に対する緩和ケア研修開催・事例検討会開催 令和3年11月10日 緩和ケア勉強会（Web開催） 「がん疼痛治療Up to date」 講師：埼玉県立がんセンター 緩和ケア科 科長 余宮 きのみ先生 参加者 149 名</li> <li>令和3年12月6日 緩和ケア講演会（ハイブリッド開催） 「患者の意向を尊重したケアをどう実践するか～病院と地域をつなぐ～」 講師：阿南医療センター 緩和ケア内科主任部長 寺嶋 吉保先生 参加者 62 名</li> <li>院内の医療従事者に対する緩和ケア研修開催 令和3年9月17日 「倫理」研修会</li> <li>令和2年10月1日 「がん看護」研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師会との症例検討会実施 令和3年4月9日実施 「肝胆膵外科手術」 外科 渡辺信之医師</li> <li>令和3年5月14日実施 「大腸腫瘍の内視鏡治療」 内科 永原照也医師</li> <li>令和3年7月9日実施 「右側結腸癌治療の今とこれから」 外科 遠藤 出医師</li> <li>令和3年9月10日実施 「当院の胆膵内視鏡治療と膵がん治療の現況」 内科 關 博之医師</li> <li>令和3年10月8日実施 「高精度放射線治療機器」 放射線科 中村哲也医師</li> <li>令和3年11月12日実施 「CT時代における乳癌治療について」 外科 久保雅俊医師</li> <li>令和4年1月14日実施 「小径腎癌に対する治療戦略」 泌尿器科 上松克利医師</li> <li>令和4年3月11日実施 「腹腔内化学療法が有効であった子宮頸癌性髄膜炎の一例」 産婦人科 中藤光里医師</li> <li>消化器入院カンファレンス開催（毎月曜日 17:15～）</li> <li>消化器カンファレンス開催（毎火曜日 16:00～）</li> <li>外科カンファレンス開催（毎木曜日 8:00～ 16:00～）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者情報交換会「たんぼぼ会」実施 令和3年度はコロナ感染対策のため希望者に資料配付の形式で実施 令和3年5月26日 資料配付</li> <li>「乳がんについて」 外科主任部長 久保 雅俊 令和3年8月25日 実施</li> <li>「病気のこと、誰と話していますか」 緩和ケア認定看護師 白川 律子 令和3年11月24日 実施</li> <li>「抗がん剤の副作用について」 がん専門薬剤師 原田 典和 令和4年3月2日 実施</li> <li>「自分らしい生活のための心のケアについて」 公認心理師 瀬尾 加奈子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルのホームページ公開（2022年4月、2021年版）</li> <li>2017年院内がん登録情報のホームページ公開</li> <li>電光掲示板による「たんぼぼ会」開催表示を継続中。</li> <li>緩和ケア研修会関連の情報提供</li> <li>患者・家族への情報提供のための市民講座「みとよサブリ」の掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がんステージングのためのCT、PET-CTの撮影及び診断（遠隔による診断も含む）</li> <li>放射線治療の実施（他院治療のみにも対応）</li> <li>病棟と連携し、放射線治療・化学療法中の口腔ケアの導入を開始 化学療法・放射線治療 月平均60名</li> <li>新規連携医療機関の確保</li> <li>令和2年度連携医療機関数 胃癌 14件(変動なし) 大腸癌 14件(変動なし) 肺癌 3件(変動なし) 前立腺癌6件(変動なし) 乳癌 1件(変動なし)</li> <li>連携パス実施件数 2021年は0件</li> </ul>	
ミーティング開催状況	毎月第2木曜日がん診療委員会にて進捗状況を報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則月1回</li> <li>毎月第2木曜日に、がん化学療法看護認定看護師から報告</li> <li>毎月第2木曜日がん診療委員会にて進捗状況を報告</li> <li>レジメン審査委員会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週火曜日に緩和ケアチームカンファレンス開催</li> <li>毎月第2木曜日のがん診療委員会で、緩和ケアWGの活動状況報告と研修会等の案内</li> </ul>	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告
今後の課題改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出期限の短縮化がおこなわれている上に、今までになかった情報公開、他の調査への協力が生じており、それに対して迅速に対応する必要がある。情報公開については、情報を更新しつつ、適宜、情報項目を増やせるようにしていく。</li> <li>全国がん登録開始による登録様式の変更など、随時内容を把握し、迅速に対応する必要がある。中級認定更新時に登録精度の不十分な点を改めて認識し、精度向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経口抗がん薬治療中の患者に対して、各科で診療前に有害事象の評価を行い、必要時、主治医報告、各専門職が介入していく必要がある。</li> <li>*免疫関連副作用(irAE)への対策を強化する。</li> <li>*個々に応じたきめ細かな栄養管理に向けて栄養管理士と連携し、がん患者の栄養障害を適切に評価・予測する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>院内の診療従事者と緩和ケアチームとの連携を強化する。</li> <li>アドバンスケアプランニングを含めた意思決定支援を提供できるような体制を整備する。</li> <li>がん看護リクナースの育成を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣医療機関と顔の見える関係づくりに力を入れ、互いに信頼できるよりよい連携を行えるようにする。</li> <li>ホームページ等を活用、見直しを行い、より分かりやすい広報活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の住民や医療・在宅・介護福祉等の関係医療機関に対しがん相談支援センターに関する広報を継続する</li> <li>相談員は対応の質向上のために研修会への参加により定期的な知識の更新に努める必要がある。</li> <li>両立支援窓口に関する広報を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん拠点病院としての情報の提示が必要に応じての提示のみである。今後は、随時各項目に即した更新、追加ができるように掲載内容の見直し、検討が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携医療機関は、徐々に増加しているが、連携パス実施に至っていない。</li> <li>連携パスについての周知が不十分なため、今後は、周治および実施の働きかけをおこなっていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射線治療の副作用について患者・家族への周知はできているが、具体的な介入事例は発生していない。今後はいかに早期に見・介入できるか検討が必要である。また、新規放射線治療の件数が減少しているため、医局会などで該当しそうな患者がいるか各担当医に検討してもらうように依頼していく。</li> </ul>
2021年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規登録・調査提出期限を厳守し、必要に応じて、院内がん登録統計情報更新をおこなう。</li> <li>登録の精度向上のため、必要に応じた研修受講に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き化学療法を受けている患者家族への継続支援</li> <li>免疫関連副作用(irAE)発現時の関連診療科と連携</li> <li>多職種連携の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門的な緩和ケアを提供できる体制を見直す</li> <li>緩和ケアとアドバンスケアプランニングに関する研修会と事例検討会を継続する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顔の見える連携の強化</li> <li>近隣医療機関へ定期的に広報誌等発送し、院内の情報を発信する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>院内の診療従事者ががん相談支援センターの役割について周知する。</li> <li>両立支援について啓発活動を継続することで、介入する患者数の増加をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者に対する治験情報や実施状況の掲示と随時更新</li> <li>上記以外のがん治療などの情報の公開、随時更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各医療機関との連携を図る際のパスの導入方法を検討し、パスを使った連携の件数の増加をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>治療の副作用へのスクリーニングと対応手順の確立</li> <li>放射線治療件数の確保</li> </ul>